



### 11月の安全就業重点事項

## 感染症の予防は 普段の心がけから



#### <具体的推進事項>

- ① 手洗い・うがいの励行
- ② 規則正しい食事をする
- ③ 時間よりも質を重視した睡眠をとる

インフルエンザを予防しましょう！

インフルエンザが流行する時期が近づいてきました。毎年流行するウイルスが変化しますので、予防接種をしておくことが大切です。

医院における予防接種の予約受付はすでに始まっています。ところで、接種はいつごろ受ければ効果的だと言えるでしょうか。

例年、インフルエンザは12月から翌年の3月くらいに流行することが多くなっています。

インフルエンザの予防接種を行ってから効果が現れるまでに、およそ2週間かかることから、11月の下旬から12月の初めくらいに予防接種を済ませておくといわれています。



#### ◆事故の発生状況◆ 平成30年度

|        | 平成30年<br>10月発生分 | 年度<br>累計 | 前年同月<br>発生分 |
|--------|-----------------|----------|-------------|
| 傷害事故   | 0               | 5        | 1           |
| 賠償責任事故 | 1               | 6        | 0           |
| 計      | 1               | 11       | 1           |

インフルエンザのウイルスは経口感染が多く、まめな「手洗い」と「うがい」が感染予防には効果的と言われています。手洗いは文字通りウイルスを洗い落とすことにつながりますが、うがいは喉から菌を洗い落とすだけでなく、喉頭部を乾燥から守り潤いを保つことで、感染しにくい環境を維持する効果があります。

インフルエンザだけでなく、あらゆる風邪に有効ですので、習慣化しましょう。



#### <インフルエンザ予防のポイント>

予防接種をすれば絶対発症しないわけではありません。ワクチンの予測が外れたり、ウイルスに変異が生じたりすると有効率が下がるため、日常的に予防しましょう！

- \* 人ごみを避け、外出時にはマスクを着用
- \* 帰宅時、食事前に「手洗い」「うがい」
- \* 栄養と休養を十分にとる
- \* 室内での加湿・換気をよくする

裏面もご覧ください

## 【交通安全】危険への感受性を高めましょう

### ■危険を意識する姿勢を保てば事故は防止できる

交通事故の多くは、「まさか死角に歩行者がいるとは思わなかった」といった、危険認識の甘さが原因となっています。

見えない場所があっても、歩行者や自転車の存在などを予測していれば、危険を探しに行けるはずですよ。

こうした危険に対する認識を、いかに多くの場面でイメージできるかが「事故を起こすか」「安全運転を続けることができるか」の分かれ目となります。

できるだけ多くの場面で危険をイメージできるようにするためには、ヒヤリ・ハットした体験などを常に思い起こし、危険感受性を磨くことを心がけることが大切です。



## ヒヤリ・ハット報告

### ①【剪定作業】

事象：三脚の上段から下段に移動中に、三脚のはしご部分の片方が浮き、落下しそうになった。

原因：作業場所周囲に生えている竹が邪魔をして、三脚を安定的に設置できなかった。

対策：作業場所周囲の雑木や切り株は事前に除去し、三脚をしっかりと安定させて設置する。（発注者の理解と協力を得ながら）

### ②【伐採作業】

事象：作業場所の周囲をカラーコーンで囲って作業をしている時に、コーンの間に軽乗用車が侵入してきた。↑

対策：バーをコーンの間に設置し、車両や人の侵入を防ぐ。



### ヒヤリ・ハットを報告しましょう

ヒヤリ・ハットとは「事故にはならなかったが、ヒヤッとした・ハッとした」という事象のことです。

事故を未然に防ぐためには、皆さんが経験したヒヤリ・ハットを共有し、一人ひとりが自分のこととしてイメージ（危険予測）することが大切です。

「ヒヤッとしたらすぐ報告」。どんな些細なことでも結構です（些細と思うことほど重要だったりします）。センター所定の報告用紙または就業報告書の連絡欄にご記入ください。

あなたのヒヤリが仲間を救います！

### ◆ 10月の発生事故

| 種別    | 日時               | 会員        | 事故の概要   |
|-------|------------------|-----------|---|
| 自動車事故 | 10月16日<br>10:00頃 | 67歳<br>男性 | (商品配送)<br>軽ワゴン車で見通しの良い直線道路を時速 60~70km で走行中、対向車とすれ違う際にハンドル操作を誤り、道路左側、田の法面部分に脱輪した。<br>対向車に過剰に反応して、ハンドルを軽く左に切ったつもりが、速度が出ていたために勢いで車道から外れた。<br>☞「ハンドルで逃げるよりも、まずは減速！」 |